

Z308a 京都女子大学の望遠鏡を通して見た京都東山の天文

中尾真弓, 上田華穂, 林里沙子 (京都女子大学), 河村聡人 (京都大学), 道越秀吾, 水野義之 (京都女子大学)

京都女子大学は京都市の東山に位置し、約110年の歴史を持つ仏教系の女子大学である。その学部構成は主に文系ではあるが、その中で天文教育が断続的に行われてきた。特に最近の発見は京都女子大学附属小学校の20cm反射望遠鏡にまつわる事柄である。この望遠鏡は、1976年の附属小学校校舎の建て替え時に建築されたドームに設置されているが、その経緯は不明であった。関係者から京都大学花山天文台から移設された望遠鏡かもしれないという証言があったが、それを裏付ける証拠はなかった。そこで、我々はこの望遠鏡の設置された経緯の解明のため、各所へのインタビューと鏡の調査を行った。まず、銘板から西村製作所の1964年製の望遠鏡であることが判明し、望遠鏡作成時に作られる「製作控え」を調査した。製作控えには、望遠鏡の発注者は「京都女子大学上田先生」と書かれていた。総合的に考えて、京都大学花山天文台天文台の2代目の台長であり、台長退官後に京都女子大学に赴任した上田穰教授である可能性が高い。また、鏡の分解調査より、鏡自体は製作者「S.N.」によって472枚目（1964年製）に製作されたものであることが判明した。この「S.N.」なる人物については今なお調査中である。当発表においては、以上の調査より明らかとなった同じ東山に位置する花山天文台と京都女子大学の天文分野での関わりを議論する。